

1. 件名：原子力エネルギー協議会及び日本機械学会との面談
2. 日時：令和6年1月26日（金）10：20～11：40
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者：

原子力規制庁

技術基盤グループ

技術基盤課

佐々木企画調整官、戸田係員

検査グループ

専門検査部門

宮崎企画調査官

日本機械学会 発電用設備規格委員長 幹事 他5名

原子力エネルギー協議会 副長 他1名

5. 要旨：

<発電用原子力設備規格溶接規格（2020年版）に関する ATENA 及び JSME の技術評価要望箇所について>

- 令和6年1月18日の ATENA との面談で、原子力規制庁から、第5回設計・建設、材料及び溶接に係る日本機械学会の規格の技術評価に関する検討チーム（令和6年1月18日）の原子力規制庁と日本機械学会 JSME との議論を踏まえ、ATENA に今後の対応について下記2点、検討するよう依頼した。
 - ・発電用原子力設備規格溶接規格（2020年版）について、原子力規制庁からの問に対して JSME から「次回の規格で改定したい」「2020年版については質疑応答集を作成することで対応したい」と発言があったが、本規格の技術評価を進めるにあたり、ATENA として具体的に JSME に今後どのように働きかけるのか。また ATENA はその他に何か行動するのか。
 - ・発電用原子力設備規格溶接規格（2020年版）は民間規格の技術評価として ATENA が原子力規制庁に要望したものだが、ATENA/JSME として具体的にどの項目について技術評価することを強く希望するのか。
- ATENA から資料1に基づき JSME 発電用原子力設備規格 溶接規格 2020年版 の運用の反映先の案について説明を受けた。
- JSME より資料2に基づき、JSME 溶接規格改定点の対応方針（案）について説明があった。
- 原子力規制庁から ATENA に対して、発電用原子力設備規格溶接規格（2020年版）について、特に下記2点を更に説明してほしい旨を要望し、ATENA から対応するとの返答があった。
 - ・本規格について、技術評価を要望する理由

・具体的に JSME として今回の民間規格の技術評価に向けて、会合で出た個別の議論についてどのように対応するのか

6. 配布資料：

資料 1 JSME 溶接規格改定点の対応方針（案）について

資料 2 JSME 発電用原子力設備規格 溶接規格 2020年版の運用について